

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11901	科名	服飾研究科	単位	21単位
科目コード	000200	科目名	服装造形	授業期間	通年

担当教員(代表)：長島 早苗

共同担当者：相澤 雅美

## 概要

- ・衣服製作の基本的な専門知識を学び、各アイテムの基本から応用まで製作の理論とテクニックを短期間で学ぶ。流行や市場調査から各自コンセプトを設定し、製作するアイテムのデザイン発想のプロセスを体験する。
- ・立体裁断の意味・知識を理解させ、基本アイテムのドレーピングテクニックと手順を実技演習により習得させる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

服装造形 論	4単位	000200
服装造形 デザイン	2単位	000300
服装造形 パターンメイキング	4単位	000500
服装造形 ソーイング	7単位	000600
服装造形 ドレーピング	4単位	000800
1. 服装造形の基礎	5コマ(前期)	概説・用具・採寸・シルエッター撮影
2. 縫製の基礎	7コマ(前期)	手縫い・ミシン縫い・ロックミシン縫い
3. パターン製作の基礎	10コマ(前期)	文化式成人女子原型・パターン操作法
4. 体型研究	11コマ(前期)	体型研究
5. スカート	21コマ(前期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
6. 立体裁断基礎	16コマ(前期)	スカート各種・胸ぐせダーツパリエーション(文化ヌードボディ使用)
7. ブラウス・シャツ	32コマ(前期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
8. パンツ	24コマ(前期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
9. 立体裁断 ブラウス	11コマ(後期)	ブラウス・衿各種(文化ヌードボディ使用)
10. バザー作品	14コマ(後期)	実物製作・グループ製作
11. ジャケット(スーツ)	48コマ(後期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
12. ワンピース	40コマ(後期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
13. 立体裁断 ジャケット	10コマ(後期)	三面構成のテーラードジャケット(工業用ボディ使用)
14. 自由研究	23コマ(後期)	実物製作又はレポート製作・プレゼンテーション発表

## 評価方法

- ・服装造形 論……S～C・F評価 筆記試験100%
- ・服装造形 デザイン……S～C・F評価 課題90%、授業態度10%
- ・服装造形 パターンメイキング……S～C・F評価 課題90%、授業態度10%
- ・服装造形 ソーイング……S～C・F評価 課題90%、授業態度10%
- ・服装造形 ドレーピング……S～C・F評価 実技試験60%、課題30%、授業態度10%

## 主要教材図書

文化ファッション大系 服飾造形講座 ①服装造形の基礎 ②スカート・パンツ ③ブラウス・ワンピース  
④ジャケット・ベスト アパレル生産講座 ③立体裁断基礎編 ⑤工業パターンメイキング

参考図書 gap COLLECTIONS ((株)ギャップジャパン)

その他資料 実物標本・参考標本・部分標本

記載者氏名 長島 早苗

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11901	科名	服飾研究科	単位	1
科目コード	005710	科目名	量産技術実習 I	授業期間	後期(集中)

担当教員(代表) : 成田 邦子	共同担当者 : 佐藤 明彦、加藤 紀人、井戸川 倫也
------------------	----------------------------

## 教育目標・レベル設定

シャツの製造実習(一人が全行程を賄う“丸縫い作業”)を通して、シャツ生産指示書(仕様書、指図書、工程分析表、作業標準書)の役割(生産時間の短縮や品質の均一化や作業者の安全等)について理解を深めることを目標とする。また、工業生産機器の取扱いと安全な基本操作についても学習し、限られた授業時間(納期:D)の中で、出来栄え(品質:Q)にバラツキが生じないように、量産的な考え方の重要性も認識させる。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

### I. ガイダンス・・・実習の目的と内容説明(授業日程、シャツ仕様)(1コマ)

### II. 縫製準備・・・縫製前の裁断実習(1コマ)

- ①延反
- ②自動裁断機(CAM)裁断
- ③芯貼り
- ④表裏の識別シール貼り
- ⑤個人仕分け

### III. 基礎練習・・・縫製機器(ミシン・アイロン)の基本操作(3コマ)

- ①基礎練習(工業用本縫いミシン、縁かがり縫いミシン、アイロン、バキュームボード)
- ②部分縫い(直線・曲線縫い、短冊あき)
- ③特殊機器見学(自動玉縁縫機、パターンシーマ、すくい縫いミシン、電子根巻きボタンつけミシン、エッジコントロールシーマ)

### IV. シャツ縫製・・・シャツ縫製実習(8コマ)

- ①部品工程(身頃づくり、衿づくり、袖づくり等)
- ②組み立て工程(衿付け、袖付け等)
- ③特殊ミシン(眠り穴かがりミシン、オートフィーダーつきボタンつけミシン)

## 評価方法・対象・比重

出席状況(40%) 作品の出来栄え(60%)

## 主要教材図書

「工業用ミシン・アイロンの基本操作と知識」

## 参考図書

なし

## その他資料

「シャツ生産指示書」

記載者書名欄 成田 邦子

科コード 11901	科名 服飾研究科	単 位	2
科目コード 400210	科目名 服飾デザイン論 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 天野豊久	共同担当者 :
-----------------	---------

## 教育目標・レベル設定など

教育目標 : 服飾デザインにおける色彩、形態、コンポジション、ファッションイメージについての講義及び演習を通して知識と技術を身につけ、創造力、分析力を養うことを目標とする。

レベル設定 : 色彩、形態、コンポジション、ファッションイメージのセオリーについて理解した上で、テーマに沿ったビジュアル表現ができる力を有する。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- |               |  |  |                |
|---------------|--|--|----------------|
| 1. 服飾デザイン概論   | ① デザインとは                                 | デザインとは何か<br>デザイン嗜好<br>「よい」デザイン   | (講義および演習 6コマ)  |
| 2. 色彩         | ① 色彩の基礎                                  | 色彩の体系/三属性とトーン  | (講義および演習 10コマ) |
|               | ② カラーコーディネーション                           | 色相を基準にしたカラーコーディネーション<br>トーンを基準にしたカラーコーディネーション<br>ファッションカラーコーディネーション<br>色彩構成(グラデーション/セパレーション) |                |
| 3. 形態/コンポジション | ① 形態の構成要素                                | 点、線、面  | (講義および演習 8コマ)  |
|               | ② シルエット                                  | 直線的-曲線的/フィットルーズ  |                |
|               | ③ コンポジション                                | ドミナント/セントラリティ<br>シンメトリー/アシンメトリー<br>リズム   |                |
|               | ③ 形態の展開                                  | 幾何図形の展開/服飾デザインにおける展開   |                |
| 4. ファッションイメージ |  |  | (講義および演習 2コマ)  |
| 5. 服飾デザインの展開  | コンセプト、テーマの策定<br>アイデアとラフスケッチ<br>服飾デザインの提案 |  | (講義および演習 4コマ)  |

## 評価方法・対象・比重

S・A～C・F評価 評価基準 : 学業評価70% 授業姿勢30%

## 主要教材図書

文化ファッション体系 改訂版・服飾関連専門講座2『服飾デザイン』(文化服装学院編/文化出版局)

## 参考図書 特になし

その他資料 Color Chart, ベーシックカラー140

記載者書名欄 天野豊久

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科1年	単位	2単位
科目コード 500810	科目名 ファッションデザイン画 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 玉川あかね	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)  
 人体プロポーションと体の動きを理解し、衣服のデザイン・構造を的確に描くことができるようになることを第一のも目標とする。基礎的なドローイングテクニック、各種画材を使用した彩色テクニックの基礎を習得させる中で、学生個々の表現力を伸ばしていく。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I・人体のプロポーション/8頭身(正面・側面)の描き方	<2コマ>
II.ヌードポーズ/身体の動き、流れを理解する(支脚・遊脚の関係の理解)	<2コマ>
*ベーシックポーズ(正面、斜め)    *手・足・顔の描き方	
III・ポーズと着装/着装表現のプロセスを学ぶ(ヌードポーズ→服のフォルム→構造、デザイン)	<4コマ>
*ベーシックドレス、シャツ、スカート、パンツ、スーツなど	
IV・アウトライン/ドローイング線の描き方を練習(グラフィックペン、筆ペン、色鉛筆)	<1コマ>
下絵から画用紙へのトレース方法	
V・製品図/衣服を明確な線図として描く(各種アイテム)	<2コマ>
VI・彩色練習/水彩絵の具、マーカーの彩色基礎練習	<3コマ>
VII・素材表現/各種画材を使用したドローイング、彩色技法	
*薄地素材、厚地素材	
*連続模様(プリント柄、織柄など)	
*透け感、光沢感、ニット、毛皮など	<5コマ>
VIII・ファッショングッズのコーディネート表現/創作デザインと表現力の強化。	<5コマ>
*校内ファッション画展にむけての作品制作	
IX・早描き練/短時間に描き上げるコツをつかむ。	<3コマ>

評価方法・対象・比重 授業課題作品及び実技試験で評価。 期限後の提出作品は減点とする S~C・F評価 学業評価・・・80% 授業姿勢・・・20%
--

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画
参考図書
その他資料

記載者氏名 玉川あかね

科コード 11901	科名 <b>服飾研究科</b>	単位	1
科目コード 400400	科目名 <b>西洋服装史</b>	授業期間	半期

担当教員(代表)： 朝日 真

共同担当者：

## 教育目標・レベル設定など

古代から現代までの時代背景、美術を基本におきながら服飾の流れについて学ぶ。また現代以降は各時代のデザイン様式、映画、写真、音楽の歴史変遷にも触れ、なおいっそうのファッションへの理解を深める。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、

テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1、オリエンテーション、世界の民族衣装を見ながら、人間とファッションの関わりをみる。
- 2、古代の美術と服飾
- 3、中世の美術と服飾
- 4、近世ルネサンスの美術と服飾
- 5、近世バロックの美術と服飾
- 6、近世ロココの美術と服飾
- 7、19世紀の美術と服飾(1)
- 8、19世紀の美術と服飾(2) C. F. ワースとフランスモード産業
- 9、1900年代、ベルエポックとアール・ヌーヴォー
- 10、1910年代、ポール・ポワレの時代  
1920年代、アールデコ、シャネル、ヴィオネの活躍
- 11、1930年代、シュールレアリスムとファッション、スキヤパレリ  
1940年代、戦争とファッション、ミリタリーファッション
- 12、1950年代、C. ディオールとニュールック、シャネルの復活  
バレンシアガとジバンシー、オードリー・ヘップバーンのシネマモード  
1960年代、ミニスカートの流行とマリー・クワント  
サンローラン、クレージュ、ピエール・カルダンの活躍、
- 13、1970年代、高田賢三、三宅一世ら日本人デザイナーの活躍  
パンク・ムーブメントとヴィヴィアン・ウエストウッド
- 14、1980年代、川久保玲、山本耀司の活躍、80年代のファッションの概観  
1990年代、マルジェラやガリアーノの活躍、90年代のファッションの概観

## 評価方法・対象・比重

英字評価、レポート課題(60%)、出欠(40%)

主要教材図書 文化ファッション大系「西洋服装史」

参考図書

その他資料

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単位	1単位
科目コード 600110	科目名 ファッションビジネス概論 I	授業期間	前期

担当教員(代表) : 澤住 倫子	共同担当者 :
------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・ファッションビジネスの基礎知識の理解
- ・ファッション産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- I. ファッションとビジネス (2コマ)
1. オリエンテーション 衣服とファッションの関係
  2. ファッションの範囲と流行の把握
- II. ファッションビジネスの特性 (4コマ)
1. ファッションの構成メンバー ファッション企業の分類
  2. ファッションビジネスの変遷 戦後の社会経済とファッション消費の変遷  
現代のキーワード
  3. 現代のファッションキーワード
- III. ファッション産業の構造 (3コマ)
1. テキスタイル産業の構造 テキスタイル業界と産地
  2. アパレル産業の構造について アパレル業界とアパレルメーカー
  3. 小売業の構造について リテール業界と新業態
- IV. ファッションビジネスの実務 (3コマ)
1. アパレル企業の業務と職種について
  2. ファッション小売業の業務と職種 ファッション販売と顧客の購買行動
  3. マーケティングの基礎知識
- V. まとめ (2コマ)
1. ファッション産業今後の課題
  2. 最新ファッションキーワード
- ※すべて講義

評価方法・対象・比重  
テキスト提出 30% 出席 70%

主要教材図書 文化ファッション体系服飾関連専門講座 12 ファッションビジネス

参考図書 日経、織研新聞、繊維白書など

その他資料 教材専用プリント類

記載者氏名 澤住 倫子

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単位	1単位
科目コード 400300	科目名 服装解剖学	授業期間	半期（後期）

担当教員(代表)：高見澤ふみ	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）  
 人体の構造を骨格と筋を中心に解剖学的に理解させ、人体と衣服パターンとの関連を形態・機能面からとらえ、  
 美的で機能的な衣服製作に発展させる。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、  
 使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション（講義内容の説明）	16	
2	人体の計測（計測法とデータ活用）、人体の構成と衣服（骨格）	17	
3	障がい者衣料について	18	
4	人体の構成と衣服（全身骨格）	19	
5	人体の構成と衣服（頭部）	20	
6	人体の構成と衣服（脊柱と衣服パターン）	21	
7	人体の構成と衣服（胸郭の構成）	22	
8	人体の構成と衣服（乳房と前身頃）	23	
9	人体の構成と衣服（上肢帯）	24	
10	人体の構成と衣服（上肢帯と自由上肢骨）	25	
11	人体の構成と衣服（上肢帯と下肢帯の違い）	26	
12	機能性大の衣服（機能性大の袖）	27	
13	機能性大の衣服（上肢の運動と動態計測からの衣服）	28	
14	ボディ開発（子供ボディ、青年男女、50代、シニア）	29	
15		30	

評価方法・対象・比重  
 S～C、F評価  
 学業評価：ノート…40%、確認テスト…20%、プリント…20%、平常点…10% 授業姿勢：出欠状況…10%

主要教材図書 服装解剖学ノート（文化出版局）
参考図書 なし
その他資料 なし

記載者氏名 高見澤ふみ

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単位	単位 1
科目コード 200310	科目名 アパレル素材論 I	授業期間	前期

担当教員(代表) : 野沢 彰	共同担当者 :
--------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)  
 アパレル製品の主な材料であるテキスタイルとそれを構成する糸、繊維、またそれらに対する染色、仕上げ加工などに関する基礎知識について学び、素材の性質がアパレル製品のデザイン、機能、品質に関わっていることを理解できるよう指導する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

繊維について(講義・実習)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(6)

- ・天然繊維の種類、性質、成分、形状、生産国など  
「植物繊維」「動物繊維」
- ・化学繊維の種類、性質、原材料、形状など  
「再生繊維」「半合成繊維」「合成繊維」

糸について(講義・実習)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(2)

- ・糸の構成要素と布地の関係  
「種類」「撚り」「太さ」など
- ・特殊な糸について  
「加工糸」「ファンシーヤーン」「ラメ・金属糸」など

布地について(講義・実習)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(4)

<織物とニット>

- ・織物の種類と特徴
- ・編地の種類と特徴
- ・その他の布地について

繊維の鑑別(実験)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(2)

- ・呈色法、顕微鏡法

評価方法・対象・比重  
 ペーパー試験、レポート課題など学業評価80%、授業姿勢20% による総合評価

主要教材図書  
 文化ファッション大系 改訂版・服飾関連講座③「アパレル素材論」文化服装学院編 文化出版局

参考図書 「アパレル素材論・ワークブック」文化服装学院教科書出版部

その他資料 「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

記載者氏名 野沢 彰



# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科1年	単位	1
科目コード 400100	科目名 アパレル品質論	授業期間	後期

担当教員(代表) : 田村 亜由美	共同担当者 : 安藤 健
-------------------	--------------

教育目標・レベル設定など

テキスタイルやアパレルの品質評価試験、品質基準、洗濯等の取扱い方法や製品の品質表示、関連する法規制や規格等について講義・演習・実習を通して学び、法令遵守の上、実用性能・要求品質を満たしたアパレルの企画・製造・販売ができることを目標にする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. アパレルと品質管理	講義 1 コマ
・ アパレルに求められる品質と製造工程別管理	
2. 品質評価試験(実用性試験)と評価	講義・演習 4 コマ
・ 品質評価試験の種類および品質基準	
・ 染色堅牢度試験	
・ 寸法変化試験	
3. アパレルの品質表示と法規制	講義 4 コマ
・ 家庭用品品質表示法 繊維製品表示規程 雑貨工業品表示規程	
・ 関連する法規制	不当景品類及び不当表示防止法 安全性に関わる法や規制 製造物責任法 等
4. アパレルの取扱い	講義及び実習 4 コマ
・ 耐洗濯性：家庭洗濯 商業洗濯 ウェットクリーニングとドライクリーニング	
・ 保管	
・ 耐薬品性(しみ抜き実験)	
5. アパレルの保証と製品事故	講義 1 コマ
・ 商品の保障と製品事故の種類と原因・対策	
	計： 14 コマ

評価方法・対象・比重	学業評価 80% (各期末試験の得点、平常成績授業内での応答、課題の評価) 授業姿勢 20% (出欠状況、授業課題提出状況など) これらを総合評価する
------------	--

主要教材図書	教科書： ファッション大系改訂版・服飾関連専門講座①「アパレル品質論」文化出版局発行
参考図書	
その他資料	

記載者書名欄	田村 亜由美
--------	--------

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11901	科名	服飾研究科	単位	1
科目コード	400900	科目名	生産管理概論	授業期間	後期

担当教員(代表) : 佐藤 明彦	共同担当者 :
------------------	---------

## 科目概要

アパレル産業界における分業について、作品と製品の違いといったアパレル生産に関する基本的な知識の習得を目的とする。縫製工場とアパレルメーカーの双方から生産活動を学ぶことにより製品が仕上がるまでのプロセスを学習する。また、生産指示書類（縫製仕様書や工程分析表等）の作成を通じてQ（品質）C（原価）D（納期）の実現についての理解を深める。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

### I. ガイダンス (1コマ)

- ①受講に関する注意事項（出席、評価方法 等）
- ②生産管理とは

### II. 生産指示書 (4コマ)

- ①加工・裁断・芯貼り指図書
- ②縫製仕様書
- ③生産指示書類作成演習

### III. 工程分析表 (3コマ)

- ①工程とは
- ②工程分析表の作成方法
- ③各自工程分析表の作成演習

### IV. アパレル製品の製造品質 (2コマ)

- ①品質の種類
- ③製造品質検査（量産シャツの外観及び寸法検査演習）

### V. 品質のつくり込み (1コマ)

- ①標準化への取り組み

### VI. 製造責任 (1コマ)

- ①PL法（製造物責任法）

### VII. 製造原価 (1コマ)

- ①原価のあらまし

### VIII. 授業の総括・試験対策 (1コマ)

- ①これまでの授業のまとめ
- ②試験範囲とポイントについて

## 評価方法・対象・比重

出席率（30%）＋提出物（30%）＋筆記試験（40%）

主要教材図書 「文化ファッション大系⑦アパレル生産管理」 「工業用ミシンとアイロンの基本操作と知識」

参考図書 なし

その他資料 プリント配布、シャツ生産指示書

記載者書名欄 佐藤 明彦

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単位	単位 1
科目コード 910300	科目名 服飾手芸 (選択科目)	授業期間	後期 ( 半期 )

担当教員(代表) : 毎熊 舞	共同担当者 : 久保田桂子
-----------------	---------------

**概要**  
 服飾手芸全般における装飾技法の基礎知識及び技術を身に付け、様々な素材の扱い方からテクニック・色・技術の組み合わせによってクリエイティブな力を養うことを目標とする。

【授業計画】  
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1. 手芸一般知識(0.5)**  
 手芸の変遷や技術の種類などを理解させる
- 2. レース表現 マクラメレース 基礎作品1点制作 (1.5)**  
 結び表現のみで効果を出すマクラメレースの基礎テクニックを理解し、応用発展できるようにする
- 3. 加飾美表現 パーツを使ったアクセサリ制作 (2)**  
 様々なパーツを使って糸で透かし模様を表現するテクニックや基本的な金具の使い方を理解習得させる
- 4. 加飾美表現 エンブroidアリー基礎 基礎刺し1点 (5)**  
 エンブroidアリーの基礎テクニックを習得させる
- 4. レリーフ・ライク表現 スモッキング・ピンキング・シャーリング 基礎刺し製作2点 (3)**  
 一枚の布を縫い縮めて変化させて装飾効果を表現するテクニックを習得させる
- 4. 装飾造形表現 アートフラワー 作品製作2点 (2)**  
 アートフラワーの基本的な知識を用いて服のデザインポイントになる装飾効果とテクニックを習得させる。

**評価方法・対象・比重**  
 S～C・F評価  
 評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

**主要教材図書**  
 教科書：文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧手芸 文化服装学院編 文化出版局

**参考図書**

**その他資料**

記載者氏名 久保田桂子

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単 位	1 単位
科目コード 911400	科目名 CAD基礎 (選択科目)	授業期間	後期

担当教員(代表) : 井戸川 倫也	共同担当者 :
-------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)  
 アパレル産業における設計プロセスを認識し、アパレルCADを利用した設計方法に対する理解を深めることを目標とする。平面作図に始まり、パターン展開、マーキングと流れ、作成したデータを活用しレポート作成をおこなう。基礎的部分の履修ではあるが、最小限の機能を活用し、最大の効果が得られるレベル設定とする。  
 受講条件は、服飾専攻科 技術専攻とオートクチュール専攻の進学希望者以外とする。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ガイダンス (1 コマ)

II. CAD基本操作 (4 コマ)

- ①. 原型作図 (直線作成、曲線作成、移動、コピー、不要線の削除 等)
- ②. スカート (タイトスカート→フレアスカート) (線の引き直し、切り開き、地の目作成 等)

III. CAD応用操作 (3 コマ)

- ①. シャツのパターンマーキング
- ②. 衿、袖、カフス、短冊の作図

IV. 工業用パターン作成 (1 コマ)

- ①. シャツの工業用パターンマーキング (パーツ化、縫い代つけ、パーツ情報の設定 等)

V. 理解度の確認 (2 コマ)

- ①. 操作の復習
- ②. 理解度確認テスト

VI. マーキングとパターン入力 (1 コマ)

- ①. マーカーの概要
- ②. スキャナ使用方法
- ③. パターントレース

VII. 資料作成 (2 コマ)

- ①. レポート作成 (平面作図・トレース)
- ②. レポート作成 (縫い代つきパターンマーキング)
- ③. レポート仕上げ

評価方法・対象・比重  
 出欠席 (40%) + 提出データ (30%) + 小テスト<実技> (30%)

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 適宜プリント配布

記載者氏名 井戸川 倫也

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単 位	1 単位
科目コード 980010	科目名 特別講義 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 長島 早苗	共同担当者 : 相澤 雅美
------------------	---------------

**概要**  
 就職に関する講義や広い視野におけるファッション産業界の知識、また服装造形分野での特殊素材に関する知識や製作技術などを、それぞれの専門分野の講師による解説・指導により将来に役立てる。

**【授業計画】**  
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. ワコール下着セミナー	1コマ (前期)	下着の一般知識
2. 就職対策	1コマ (前期)	履歴書・エントリーシートのかき方
3. 就職対策	1コマ (前期)	模擬面接
4. 裏地の知識	1コマ (前期)	ベンベルグ裏地について
5. ファッション業界の仕事	1コマ (前期)	服飾研究科卒業生によるディスカッション
6. ファッション業界の仕事	1コマ (前期)	編集の仕事について
7. ファッション情報	1コマ (前期)	トレンド解説 パリ・ミラノ・東京
8. 毛皮の一般知識	1コマ (前期)	毛皮一般知識
9. デザイナーの仕事	1コマ (前期)	仕事内容・実務解説
10. 皮革の一般知識	1コマ (後期)	皮革一般知識
11. 卒業生から後輩へ	2コマ (後期)	ファッション業界の仕事・パタンナーの仕事
12. ファッション情報	1コマ (後期)	トレンド解説 パリ・ミラノ・東京
13. ニットの一般知識	2コマ (後期)	ニットの商品知識

**評価方法**  
 履修認定 評価基準: 出欠状況、学業姿勢

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	プリント

記載者氏名 長島 早苗

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単 位	1単位
科目コード 930010	科目名 校外研修 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 長島 早苗	共同担当者 : 相澤 雅美
------------------	---------------

**概要**  
 文化的な知識・教養および感性を高めるために、古美術研修旅行、美術展見学・伝統芸能鑑賞などによって視野を広め、またクラス内の親睦・融和と人間性を高める。

**【授業計画】**  
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 展覧会・美術展見学
2. 能鑑賞
3. 歌舞伎鑑賞
4. 研修旅行 (京都・奈良 2泊3日)
  - 1日目 東京 —名古屋—室生寺 —興福寺(国宝館)— ホテル・(奈良)(講話)
  - 2日目 ホテル —法隆寺・中宮寺— 東大寺(南大門・大仏殿・戒壇院・二月堂・三月堂)  
—浄瑠璃寺— ホテル(京都)
  - 3日目 ホテル —川島織物セルコン —東寺— 京都市内—東京

**評価方法**  
 履修認定 評価基準: 出欠状況

主要教材図書 なし  
 参考図書 なし  
 その他資料 プリント・パンフレット

記載者氏名 長島 早苗

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単 位	1 単位
科目コード 947100	科目名 コラボレーション a (自由選択)	授業期間	通年

担当教員(代表) : 長島 早苗	共同担当者 : 相澤 雅美
------------------	---------------

## 【科目概要、到達目標・レベル設定】

コラボレーションを通して、企業との連携を深め、社会貢献することを学ぶ。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

その年度の実施内容による。

## 評価方法

履修認定・・・P評価

評価基準・・・学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

## 主要教材図書

## 参考図書

## その他資料

記載者氏名 長島 早苗

# 2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単位	4 単位
科目コード 970000	科目名 卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表) : 長島 早苗	共同担当者 : 相澤 雅美
------------------	---------------

**概要**

・一年間で習得した知識・技術の集大成として、フォーマルウェアからニューフォーマルウェアまで個性を活かした作品を製作させる。併せてTPOをふまえたコーディネートも研究させる。

**【授業計画】**

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

卒業制作 60コマ (後期) 実物製作・レポート製作・卒業制作ショー (準備も含む)

**評価方法**

S~C・F評価 評価基準 : 学業評価90%、授業姿勢10%

**主要教材図書**

文化ファッション大系 服飾造形講座 ⑤コート・ケープ ⑥服飾造形応用編 I (高級素材)

参考図書 gap COLLECTIONS (株)ギャップジャパン)

その他資料 実物標本・参考標本・部分標本

記載者氏名 長島 早苗